

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（337））

2. 日時：平成29年9月8日 18時40分～19時30分

3. 場所：原子力規制庁 8階会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

正岡安全審査官、皆川係長、角谷安全審査官

事業者：

日本原子力発電株式会社：福山執行役員（発電管理室室長（許認可担当））

他6名

5. 要旨

（1）原子力規制庁より、有効性評価における、格納容器圧力逃がし装置を使用する事故シーケンスについて、

- ・ 格納容器圧力逃がし装置を使用するまでの時間の考え方及びその方策
- ・ その方策に基づき行った解析結果

について説明することを求め、日本原子力発電より資料に基づき説明があった。

（2）原子力規制庁より、資料に記載された解析条件、解析結果、留意事項等を確認し、説明のあった内容については理解した旨伝えた。

6. その他

提出資料：

- ・ 格納容器ベント開始時間の遅延について